

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3470205992		
法人名	有限会社 ピースフル		
事業所名	グループホーム 海老園 はなみずき		
所在地 (電話番号)	広島市佐伯区海老園一丁目7-21 (電話)082-924-7766		
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島		
所在地	広島市東区福田1丁目167番地		
訪問調査日	平成 19年 8月 17日	評価確定日	平成 19年8月25日

## 【情報提供票より】(19年 8月 8日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 8月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	7人, 非常勤 10人, 常勤換算 12.6

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造造り	
	2階建て	1階 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 ~ 50,000円	その他の経費(月額)	実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有(期間:1年)
食材料費	朝食	300円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 100円
	または1日当たり		1,200円

### (4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	8名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83.1歳	最低	69歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	生協さえき病院, あおぞら診療所
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体である(有)ピースフルは介護福祉士夫婦が介護現場での経験を活かして立ちあげたものであり、平成17年8月に設立された当ホームは若いスタッフを中心にしっかりとした介護基本理念を持ち、それに基づいた日常ケアが行なわれている。「いつも同じなじみの環境の中で、暮らしのあらゆる場面で残された力を発揮できる喜びと自信を持ってもらい、ゆったりと楽しく自由にありのままに適度であること」をモットーに職員と入居者が共に支え合いながら生活をしていて入居者の表情も明るく落着いている。地域住民の一員として町内会活動や行事に積極的に参加し、地域の理解を得ている。

重点項目	<p>① 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題、① 地域の理解を深める方策づくり、② 玄関まわりの整備、③ 栄養摂取状況の管理、④ 緊急時の対応、⑤ ホームと地域交流・市町への働きかけ、については全職員で前向きに取り組み成果をあげている。特に緊急時の対応としてマニュアルを整備するとともに運営推進会議を活用して地域防災に積極的に取り組んでいる。</p>
	<p>② 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が自己評価の意義をよく理解し、ミーティング等で意見を出しあいながら改善に結びつけサービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>③ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>ホーム側から自己評価の内容や外部評価の結果、ホームの現状などを説明し会議メンバーの意見、助言を求めると共に、メンバーからの提案により地域自主防衛隊への参加、回覧板掲示の実施、ネットワークへの参加などの課題に積極的に取り組み成果をあげている。</p>
重点項目	<p>④ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族来訪時の話し合いや広報紙「ピースフルだより」の発行、毎月送付する郵便での近況報告により、家族との情報交換を行なうと共に、苦情相談窓口の明示、「ご意見箱」を設置し家族等の意見を受ける体制はできているが、家族側の立場になって意見要望が出やすい仕組み作りが望まれる。</p>
重点項目	<p>⑤ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームから積極的に出かけて地域と交流するように心掛けており、町内会、自治会、老人会、地域行事への参加、小学校、公民館への訪問などを行なうとともに町内会の回覧に広報紙「ピースフルだより」を加えてもらい地域との連携を深めている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく生活するために、なじみの環境のもとで、ゆったりと楽しく残された力を発揮しながら自由に暮らせる喜びと自信を持ち、日常の当たり前の生活の中で入居者と職員が支え合って暮らしていくための理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有化を図るため、毎日の朝礼、毎月のミーティング、カンファレンスで職員全員が理念、方向性を確認し、具体的なケアに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民の一員として町内での行事参加、運営推進会議、ネットワーク会議等に積極的に参加し、地域、自治会等との交流の場を作っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の外部評価時の要改善点については、ミーティングで協議し改善に努めている。評価の意義や重要性をよく理解していて全員でサービスの向上に活かしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度会議を開催しホーム側から現況報告や説明を行ない、メンバーからの意見や助言を受けている。会議の内容は必要に応じてミーティング等で職員と協議している。		運営推進会議に提出された質問・意見・要望が具体的な形となってサービス向上に活かされるよう双方向的な会議として充実していくことを期待する。

NPOインタッチサービス広島

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ネットワーク会議や、区役所での勉強会へ積極的に参加している。市の担当者とは定期的に交流しているが特別に質の向上に対しての協議は行っていない。	○	市の担当者との積極的な交流のなかで相互に情報提供を行ないサービスの質の向上につなげていかれることを期待する。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時の話し合いのほかに、毎月の請求書発送の際に本人の暮らしの状況や、金銭管理、事業所の現況等を同封し郵送している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談機関を記載するとともに、玄関に「ご意見箱」を設置しているが形式的であり、家族から積極的に意見・要望を聞く体制としては不十分である。	○	「ご意見箱」の設置場所、重要事項説明書の苦情相談機関に公的機関名と連絡方法を記載し家族からの意見・要望が出しやすいような環境づくりを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響を配慮しユニット間の職員の異動は行っていない。職員の離職による補充は速やかに行なうよう心がけている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な社内勉強会のほかに社外研修会へも順番で参加し、受講者はミーティングで受講報告を行ない全員で研修している。		実務研修・資格取得研修等、職員の経験年数、習熟度に応じて体系的、継続的な教育計画をたてられることを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者同士の交流、地域のグループホームとの交流会により情報交換を積極的に行ないサービスの質の向上につなげるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員の事前訪問による生活環境の把握、利用者の体験入居により、ホームに馴染んでもらうとともに、本人や家族の意見・要望を聞いてホームでの安定した生活ができるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	押しつけない介護を念頭におき、人生の先輩である入居者と共に過ごし、学び支え合う生活を楽しんでいる。好きな映画・音楽を楽しみ、調理方法を教えてもらったり、時には共に悲しんだり暮らしのあらゆる場面で普通の生活を行なっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の会話やご家族からの意見の中で、本人の生活歴や希望、意向を聞き出すように努め、その人らしい生活を楽しめるように支援している。実施後は本人の希望に沿っているか確認をとるとともに実施後の反応にも気を配っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族・関係する職員とで充分話しあい、課題を明らかにして、それぞれの意見・アイデアを加味した介護計画を作成している。 今後、訪問医師との連携を密にし他職種からの意見をとり入れていくことを考えている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6ヵ月毎に見直しを行なっているが、状況の変化があればその都度見直しを行ない、家族の了解を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日常的な外出のほかに、通院、一時帰宅、外泊、墓参り等、可能な限り柔軟な支援を行なっている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診を希望する人には継続して受診できるように支援している。それ以外の人には往診専門医による定期的な往診・緊急時の対応等を行なっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	関係機関、家族とよく相談したうえで出来るだけ早い時期に方針を共有し、重度化、終末期の方への対応をしていくことにしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを傷つけるような言葉使いや対応をしないように徹底している。特に排泄時の声かけや、食事の支援など本人に恥をかかせないように配慮している。個人情報保護については全員がよく理解し厳重に管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に示されているとおり、本人のペース、気持を尊重し、それぞれの意思希望に合わせてゆったりと楽しく自由にありのままに生活できるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立ては出来るだけ入居者の希望を入れ、準備・調理・あと片付けなどは出来る人には積極的に参加してもらっている。食事職員と一緒に楽しみながら行なわれ職員はさりげなくサポートしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間帯を職員の都合で一方的に決めるようなことはせず午後7時迄は好きな時間に回数等の制限なしに入浴できるようにしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味を把握し、それぞれの得意分野で役割を果たしたり、楽しみごとを行なえるよう場面作りをし支援している。具体的にはパン作り、ししゅう、ぬり絵、生花、外出等個人の活動を中心に取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の散歩、スーパーへの買物、地域行事への参加、季節に合わせた外出など、出来るだけ戸外に出かけられるように支援している。 また、毎日フリーの職員を配置し自由に外出等ができる体制をとっている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由な暮らしを大切にするため、日中は施錠していない。職員は施錠が拘束につながることをよく理解しており鍵をかけないケアの取り組みとして常に目の届く位置で目を離さないように心掛けている。		
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練に全員参加し災害に対する意識を高めている。また町内の自主消防会が近く発足するので参加する予定である。 運営推進会議でも災害対策をとりあげており、地域との協力体制が確立されつつある。		災害に対する備えを万全にし、実地訓練を繰り返し行なわれることを希望する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の嗜好や、アレルギー体質、食事量などを考慮して本人が美味しく食べれる支援を行なっている。栄養バランス、摂取カロリー、水分量については栄養士によるチェックが行なわれている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や食堂・居間の飾り付けは施設的な派手な飾り付けを排除して、家庭で暮らしている感じを大切にシンプルにしているが季節感を採り入れる配慮はされている。音・光・空調は適度に管理されており、1階ユニットには大きめのソファ2階には6畳のたたみが敷いてあり居心地よく過ごせる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地よく自分らしい生活ができるように居室の清掃は行き届いており、使い慣れた生活用品、家具や調度品が持ち込まれている。部屋はそれぞれ思い思いの飾り付けを行ない自分の部屋で生活している感じを大切にしている。		

NPOインタッチサービス広島

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

**I 理念の基づく運営**

1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	日常ということをシンプルにとらえ、当たり前、楽しく、地域資源を活かし生活していただけるように支援をしていきます。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎日の朝礼、月のミーティング、カンファレンスにて理念、方向性を確認し取り組んでいます。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族には毎月ご様子写真にて報告を行い。面会時には口頭により報告しています。地域に対しては日々の挨拶、各地域会議にて報告、お願いをしています。	○	全てのご家族、多くの地域の方にまだ理解はしていただけていないと思います。ご家族とのコミュニケーション、地域への広報を充実していきたいです。

2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日々の挨拶や、今年度は町内会の班長を行い、近隣の方とのコミュニケーションを図っています。	○	班長を受けた事により少しは広がってはきましたが、範囲が狭く今後広げていく事が必要と思われます。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内での行事参加、推進会議、ネットワーク会議等で、地域、自治会等との交流の場をつくっています。		会議、行事への参加は出来ているが、独自の催し等型にしていく必要があります。



番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	現在組織としては形になっていません。	○	地域の声を把握し可能な範囲内で答えていきたいと思っています。自治会等の連携が必要と思っています。
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	昨年度の外部評価の際は、指摘のあった点に関してミーティングで協議し、改善に努めていきました。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度会議を開催し、意見交換を行っています。会議の内容は、必要に応じてミーティング等で職員と協議しています。		毎回案は地域、当事業所共に出ますが、具体的な形になっておりません。現在の大きな課題となっております。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	ネットワーク会議や、区役所で行われる自主勉強会等参加しています。	○	定期的にお会いする事はありますが、特別に質の向上に対しての協議等は現在行っておりません。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	学習の機会、勉強会党派行っていないませんが、その都度ご家族に紹介する事はあります。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングで一度話をし、以降職員の意識は十分にあると思っています。現在、拘束、虐待はありません。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に当事業所の弱点を十分に説明し、意見、納得をいただき、ご家族の意向をしっかりと聞き、それぞれの思いに開きがないように心がけています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	ご本人様よりご意見・苦情を頂いた場合はその日の申し送り、ミーティング、カンファレンス等で解決策を話しあっています。	○	外部への苦情機関を設けてはいますが、特にこちらから働きかけてはしません。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月請求書発送の際に、ご様子、金銭の残高等同封し郵送しています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情箱を設置しています。ご家族よりご意見・苦情を頂いた場合はその都度話し合いを持ち、解決策を報告しています。	○	外部への苦情機関を設けてはいますが、契約時に説明をし以降は特に働きかけてはしません。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々話しやすい雰囲気を心がけています。その都度、又は、ミーティングにて意見は聞き出来るだけ反映できるように努めています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	毎月勤務表を作成する際に調整を行っている。突発の際はその都度勤務交代等で対応しています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	2ユニットの小さな事業所のため、現在は異動は行っていません。離職の際は個人的に挨拶する等配慮している。		
<b>5 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	常勤、パート職員も順番で研修に参加し終了後報告会を行っています。		組織としての勉強会は定期的開催されています。今後個人差等段階毎に研修を行っていきたいと思います。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	管理者同士の交流は時おりあります。地域のグループホームの交流会は発足していますが、実施回数が少なく、向上の場には到達していないように思います。		今後定期的に交流会を実施し、職員同士の意見交換等行っていけるように努めていきたいです。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	積極的に会話をするように心がけています。また、年数回の食事会(忘年会等)等でストレスの軽減につながるよう努めています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	部屋担当、行事を個人にまかし、失敗しても実行し、自信や、向上心に繋がるよう心がけています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	契約前は必ず当授業所に足を運んで頂か出向いて行き、直接話をさせていただいています。その際一方的に話をしないように心がけています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族には必ず当事業所を見ていただき現在の状況を聞き今後のどうするかを話しています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族としっかりはなしをし、意向と違う場合は他のサービスを紹介したり、一覧表等資料をお渡ししています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	建物が狭く特別サービスとしての工夫はしていませんが、入居当初は職員がしっかりと付き話等行い必要に応じ面会を多く来て頂き徐々に減らしていく等の策をとっています。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀しみを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員一同押し付けない介護を念頭におき、日々過ごしています。好きな映画、音楽を借りに行ったり、調理方法を教えていただいたり、時には悲しんだりとにぎやかに過ごしています。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族にはご家族の事情を最優先し、押し付けたり、一方的に話さないように気をつけています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	普段の家族への思い等を伝え、面会に来ていただいた際は職員との時間も作るようにつとめています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	時にはご家族に相談し、ご本人様から要望があれば、連絡、外出で可能な範囲内で対応しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食堂の席は仲の良い方達を中心に座っていただき、空いた時間は職員も一緒に座り会話をするように努めています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了後も訪問される家族、ご本人様はおられます。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や、ご家族からの意見を聞きご本人様が楽しめる事を考えています。実施の際はご本人様に確認をとるか、実施後の反応を見て決めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	環境の変化を最小限にし、不安の軽減のため、入居時には極力新品でなく、ご自宅等で使っていた物を持って来ていただいています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	病歴、生活歴を把握し、毎日のバイタルチェック、個別の記録を記入、カンファレンスの実施により把握に努めています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人、毎月のカンファレンス、家族への相談等の意見を聞き介護計画を作成しています。		今後訪問看護との連携を密にし他職種からの意見を取り入れていきたいと思います。
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画実施後はその都度話し合いを行い状況によっては変更しております。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日誌、個別記録、介護計画実施表、ノートの記入により情報を共有しています。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。			
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員の方の出入りはありますが、現状そのような要望がありません。今後要望がありましたら検討していきます。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	入居前のケアマネージャーの方には引き続き支援をお願いし、必要に応じ相談等しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括とは地域参加の面では協力していますが、個人のマネジメントの必要性が現在無いため、行っていません。	○	今後、入居者、退居予定者の状況に応じ、相談していききたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医の希望があれば継続し受診しています。以外の方は往診専門医に依頼し、定期的な往診、緊急時の対応等お願いしています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医、往診の先生共に認知症高齢者の理解があり適切に対応していただいています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護と契約し、週1回の定期訪問、夜間も含めての24時間対応をお願いしています。		
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	基本的には協力病院、かかりつけ病院に依頼しています。また、往診の先生より調整していただく場合もあります。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	訪問看護との連携により希望があれば重度化、終末期の方への対応をしていくつもりです。その際は、関係機関、ご家族とよく相談をした上で決めていきたいと思えます。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	開所間が無いため実績はありませんが、ご本人様を最優先し、見極めはしっかりしていきたいと思えます。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	情報はご家族の同意のもと提供し、電話、訪問等で連絡をとり調整しています。		

**IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	個人情報の同意書を取り対応しています。個人記録等目の付かない場所に保管し配慮しています。トイレの声かけ等、ご本人様に恥をかかせない声かけを意識しています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者第一をモットーに介護職が決め付けず、選択肢のある声かけを心がけています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本はご本人様のペース、気分を大切に声かけ等行っています。調理等、当番制にせず、自発、声かけで対応しています。		



番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	希望の方は昔からの行き着けの美容院にいます。そうでない方もホーム内で切るのでなく、外にでていただき、お店で切って雰囲気を経験していただいています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立は皆さんの食べたいものを必ずいれています。調理等は好きな方には積極的に参加していただいています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	必要に応じご家族よりお金を預かり、家族、医療的に問題の無い方は特に制限はしていません。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	トイレでの自然排泄を心がけています。オムツ等は最終的な事であると認識しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	1週間午後より7時まで好きな時間に入っただき、回数等の制限もしていません。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	就寝、起床時間は設けず、自由に過ごしていただいています。日中も顔の表情によっては昼寝等薦めています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活史、趣味を大切にし、パン作り、生花、外出等、個人の活動を中心に取り組んでいます。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族の許可を頂きご本人様が希望されている方には自己管理していただいています。	○	認知症の状況によっては紛失があり事業所で管理している方もおられます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	毎日フリーの職員を配置し自由に外出等できる体制をとっています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	毎月の行事、墓参り、レンタルビデオ店、日々の外出等個別で出かけています。	○	ご家族の確認はとりますが、一緒に行動するとまでは現在出来ていません。今後の課題です。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話、手紙は現在実施しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	門限等設けず、時間の制限なくいつでも来ていただけるようにしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基準に則り拘束、虐待は行っていません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間帯以外玄関の鍵はかけていません。	○	裏口に関しては過去事故が置きそうになったため、鍵をかけています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日2回のバイタルチェック時、不在者の確認を行い安全面への配慮をしています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居時にご本人様の要望を聞き、持ち込んでいただいています。	○	状態によっては、刃物の持込を禁止する場合があります。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修への参加や、カンファレンス、申し送りで話し合い取り組んでいます。		
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	年2回の消防訓練、不定期ではありますが、救命救急講習の受講をしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防訓練時に徹底はしていますが、地域に対しての働きかけは不足していると思います。	○	今後、町内で自主消防会が発足されるため参加予定。各職員の災害に対する知識の徹底が必要と思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	ご家族にはリスクの高い方にはその都度説明をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	体調の異変を感じた場合は、家族に連絡し医療機関の受診、時には救急車での対応をしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	往診の先生、薬剤師と相談し、薬の中止、継続、追加等決めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	日々の排便チェックにより判断し、運動、食事の工夫、薬等対応しています。	○	栄養士不在のため食事管理に関しては弱い面があると思います。栄養士との連携が必要に思われます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、口腔ケアを実施しています。	○	昼食後、自立度の高い方は声かけが来ていなく場合があります。今後徹底できるように勤めていきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個人の嗜好、アレルギー、量を把握し対応しています。夜間は各部屋にお茶を置き対応しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年予防接種をしています。他の感染症は疑いがある場合は受診、検査を行っています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	感染マニュアルにそって気をつけています。	○	一般家庭程度の予防策のため、さらにきめ細かい管理が必要に思われます。
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	あまり荷物も置かないようし花等を置き工夫をしています。		以前近隣の方より入りにくいとの声をいただきました。環境面だけでなく、広報面の強化が必要と思われます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日の掃除は行っていますが、他の取組は出来ていないと思います。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食卓テーブルや、談話スペースを設けそれぞれ好きな場所で過ごしていただけるように配慮しています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	極力使い慣れた物を持って来ていただいています。危険性が無い物に関しては制限はしていません。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気により臭いは気をつけています。共用スペース、各居室に温度計を置き温度には注意しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの配置、椅子の高さ、クッション等活用し対応しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	新しい事より、慣れ親しんだ事を中心に行っています。		
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ベランダはありません。裏に庭に畑を作り好きな方に参加していただいています。		表玄関周辺にももう少し工夫が必要におもいます。(ベンチ等)

**V サービスの成果に関する項目**

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① ○ 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① ○ ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① ○ ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① ほぼ全ての利用者の ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① ほぼ全ての利用者が ② ○ 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① ○ ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※           は、外部評価との共通項目



番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

**I 理念の基づく運営**

1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	日常ということをシンプルにとらえ、当たり前、楽しく、地域資源を活かし生活していただけるように支援をしていきます。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎日の朝礼、月のミーティング、カンファレンスにて理念、方向性を確認し取り組んでいます。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族には毎月ご様子写真にて報告を行い。面会時には口頭により報告しています。地域に対しては日々の挨拶、各地域会議にて報告、お願いをしています。	○	全てのご家族、多くの地域の方にまだ理解はしていただけていないと思います。ご家族とのコミュニケーション、地域への広報を充実していきたいです。

2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日々の挨拶や、今年度は町内会の班長を行い、近隣の方とのコミュニケーションを図っています。	○	班長を受けた事により少しは広がってはきましたが、範囲が狭く今後広げていく事が必要と思われます。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内での行事参加、推進会議、ネットワーク会議等で、地域、自治会等との交流の場をつくっています。		会議、行事への参加は出来ているが、独自の催し等型にしていく必要があります。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	現在組織としては形になっていません。	○	地域の声を把握し可能な範囲内で答えていきたいと思います。自治会等の連携が必要だと思います。
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	昨年度の外部評価の際は、指摘のあった点に関してミーティングで協議し、改善に努めていきました。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度会議を開催し、意見交換を行っています。会議の内容は、必要に応じてミーティング等で職員と協議しています。		毎回案は地域、当事業所共に出ますが、具体的な形になっておりません。現在の大きな課題となっております。
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	ネットワーク会議や、区役所で行われる自主勉強会等参加しています。	○	定期的にお会いする事はありますが、特別に質の向上に対しての協議等は現在行っておりません。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	学習の機会、勉強会党派行っていないませんが、その都度ご家族に紹介する事はあります。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティングで一度話をし、以降職員の意識は十分にあると思っています。現在、拘束、虐待はありません。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に当事業所の弱点を十分に説明し、意見、納得をいただき、ご家族の意向をしっかりと聞き、それぞれの思いに開きがないように心がけています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	ご本人様よりご意見・苦情を頂いた場合はその日の申し送り、ミーティング、カンファレンス等で解決策を話しあっています。	○	外部への苦情機関を設けてはいますが、特にこちらから働きかけてはしません。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月請求書発送の際に、ご様子、金銭の残高等同封し郵送しています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情箱を設置しています。ご家族よりご意見・苦情を頂いた場合はその都度話し合いを持ち、解決策を報告しています。	○	外部への苦情機関を設けてはいますが、契約時に説明をし以降は特に働きかけてはしません。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々話しやすい雰囲気を心がけています。その都度、又は、ミーティングにて意見は聞き出来るだけ反映できるように努めています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	毎月勤務表を作成する際に調整を行っている。突発の際はその都度勤務交代等で対応しています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	2ユニットの小さな事業所のため、現在は異動は行っていません。離職の際は個人的に挨拶する等配慮している。		
<b>5 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	常勤、パート職員も順番で研修に参加し終了後報告会を行っています。		組織としての勉強会は定期的開催されています。今後個人差等段階毎に研修を行っていききたいと思います。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	管理者同士の交流は時おりあります。地域のグループホームの交流会は発足していますが、実施回数が少なく、向上の場には到達していないように思います。		今後定期的に交流会を実施し、職員同士の意見交換等行っていけるように努めていきたいです。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	積極的に会話をするように心がけています。また、年数回の食事会(忘年会等)等でストレスの軽減につながるよう努めています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	部屋担当、行事を個人にまかし、失敗しても実行し、自信や、向上心に繋がるよう心がけています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	契約前は必ず当授業所に足を運んで頂か出向いて行き、直接話をさせていただいています。その際一方的に話をしないように心がけています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族には必ず当事業所を見ていただき現在の状況を聞き今後のどうするかを話しています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族としっかりはなしをし、意向と違う場合は他のサービスを紹介したり、一覧表等資料をお渡ししています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	建物が狭く特別サービスとしての工夫はしていませんが、入居当初は職員がしっかりと付き話等行い必要に応じ面会を多く来て頂き徐々に減らしていく等の策はとっています。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀しみを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員一同押し付けない介護を念頭におき、日々過ごしています。好きな映画、音楽を借りに行ったり、調理方法を教えていただいたり、時には悲しんだりとにぎやかに過ごしています。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族にはご家族の事情を最優先し、押し付けたり、一方的に話さないように気をつけています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	普段の家族への思い等を伝え、面会に来ていただいた際は職員との時間も作るようにつとめています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	時にはご家族に相談し、ご本人様から要望があれば、連絡、外出で可能な範囲内で対応しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食堂の席は仲の良い方達を中心に座っていただき、空いた時間は職員も一緒に座り会話をするように努めています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了後も訪問される家族、ご本人様はおられます。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や、ご家族からの意見を聞きご本人様が楽しめる事を考えています。実施の際はご本人様に確認をとるか、実施後の反応を見て決めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	環境の変化を最小限にし、不安の軽減のため、入居時には極力新品でなく、ご自宅等で使っていた物を持って来ていただいています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	病歴、生活歴を把握し、毎日のバイタルチェック、個別の記録を記入、カンファレンスの実施により把握に努めています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人、毎月のカンファレンス、家族への相談等の意見を聞き介護計画を作成しています。		今後訪問看護との連携を密にし他職種からの意見を取り入れていきたいと思います。
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画実施後はその都度話し合いを行い状況によっては変更しております。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日誌、個別記録、介護計画実施表、ノートの記入により情報を共有しています。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。			
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員の方の出入りはありますが、現状そのような要望がありません。今後要望がありましたら検討していきます。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	入居前のケアマネージャーの方には引き続き支援をお願いし、必要に応じ相談等しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括とは地域参加の面では協力していますが、個人のマネジメントの必要性が現在無いため、行っていません。	○	今後、入居者、退居予定者の状況に応じ、相談していききたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医の希望があれば継続し受診しています。以外の方は往診専門医に依頼し、定期的な往診、緊急時の対応等お願いしています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医、往診の先生共に認知症高齢者の理解があり適切に対応していただいています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護と契約し、週1回の定期訪問、夜間も含めての24時間対応をお願いしています。		
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	基本的には協力病院、かかりつけ病院に依頼しています。また、往診の先生より調整していただく場合もあります。		



番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	訪問看護との連携により希望があれば重度化、終末期の方への対応をしていくつもりです。その際は、関係機関、ご家族とよく相談をした上で決めていきたいと思えます。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	開所間が無いため実績はありませんが、ご本人様を最優先し、見極めはしっかりしていきたいと思えます。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	情報はご家族の同意のもと提供し、電話、訪問等で連絡をとり調整しています。		

**IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**

1 その人らしい暮らしの支援  
(1) 一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	個人情報の同意書を取り対応しています。個人情報記録等目の付かない場所に保管し配慮しています。トイレの声かけ等、ご本人様に恥をかかせない声かけを意識しています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者第一をモットーに介護職が決め付けず、選択肢のある声かけを心がけています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本はご本人様のペース、気分を大切に声かけ等行っています。調理等、当番制にせず、自発、声かけで対応しています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	希望の方は昔からの行き着けの美容院にっています。そうでない方もホーム内で切るのでなく、外にでていただき、お店で切って雰囲気を経験していただいています。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立は皆さんの食べたいものを必ずいれています。調理等は好きな方には積極的に参加していただいています。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	必要に応じご家族よりお金を預かり、家族、医療的に問題の無い方は特に制限はしていません。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	トイレでの自然排泄を心がけています。オムツ等は最終的な事であると認識しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	1週間午後より7時まで好きな時間に入っただき、回数等の制限もしていません。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	就寝、起床時間は設けず、自由に過ごしていただいています。日中も顔の表情によっては昼寝等薦めています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活史、趣味を大切にし、パン作り、生花、外出等、個人の活動を中心に取り組んでいます。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族の許可を頂きご本人様が希望されている方には自己管理していただいています。	○	認知症の状況によっては紛失があり事業所で管理している方もおられます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	毎日フリーの職員を配置し自由に外出等できる体制をとっています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	毎月の行事、墓参り、レンタルビデオ店、日々の外出等個別で出かけています。	○	ご家族の確認はとりますが、一緒に行動するとまでは現在出来ていません。今後の課題です。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話、手紙は現在実施しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	門限等設けず、時間の制限なくいつでも来ていただけるようにしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基準に則り拘束、虐待は行っていません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間帯以外玄関の鍵はかけていません。	○	裏口に関しては過去事故が置きそうになったため、鍵をかけています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日2回のバイタルチェック時、不在者の確認を行い安全面への配慮をしています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居時にご本人様の要望を聞き、持ち込んでいただいています。	○	状態によっては、刃物の持込を禁止する場合があります。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修への参加や、カンファレンス、申し送りでも話し合い取り組んでいます。		
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	年2回の消防訓練、不定期ではありますが、救命救急講習の受講をしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防訓練時に徹底はしていますが、地域に対しての働きかけは不足していると思います。	○	今後、町内で自主消防会が発足されるため参加予定。各職員の災害に対する知識の徹底が必要と思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	ご家族にはリスクの高い方にはその都度説明をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	体調の異変を感じた場合は、家族に連絡し医療機関の受診、時には救急車での対応をしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	往診の先生、薬剤師と相談し、薬の中止、継続、追加等決めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	日々の排便チェックにより判断し、運動、食事の工夫、薬等対応しています。	○	栄養士不在のため食事管理に関しては弱い面があると思います。栄養士との連携が必要に思われます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、口腔ケアを実施しています。	○	昼食後、自立度の高い方は声かけが来ていなく場合があります。今後徹底できるように勤めていきます。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個人の嗜好、アレルギー、量を把握し対応しています。夜間は各部屋にお茶を置き対応しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年予防接種をしています。他の感染症は疑いがある場合は受診、検査を行っています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	感染マニュアルにそって気をつけています。	○	一般家庭程度の予防策のため、さらにきめ細かい管理が必要に思われます。
<p>2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	あまり荷物も置かないようし花等を置き工夫をしています。		以前近隣の方より入りにくいとの声をいただきました。環境面だけでなく、広報面の強化が必要と思われます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	毎日の掃除は行っていますが、他の取組は出来ていないと思います。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食卓テーブルや、談話スペースを設けそれぞれ好きな場所で過ごしていただけるように配慮しています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	極力使い慣れた物を持って来ていただいています。危険性が無い物に関しては制限はしていません。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気により臭いは気をつけています。共用スペース、各居室に温度計を置き温度には注意しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの配置、椅子の高さ、クッション等活用し対応しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	新しい事より、慣れ親しんだ事を中心に行っています。		
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ベランダはありません。裏に庭に畑を作り好きな方に参加していただいています。		表玄関周辺にももう少し工夫が必要におもいます。(ベンチ等)

**V サービスの成果に関する項目**

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	① <input type="radio"/> 毎日ある ② <input type="radio"/> 数日に1回程度ある ③ <input type="radio"/> たまにある ④ <input type="radio"/> ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者の ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	① <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が ② <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが ③ <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが ④ <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない



95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

※           は、外部評価との共通項目